

令和2年度 行政評価表

担当課	健康増進課
章名	第2章 いきいき_元気_健康長寿のまち
節名	第1節 生涯を通じた健康づくり
施策名	1-健康づくりの推進

施策の内容	目指す姿	すべての町民が、自らの健康に関心を持ち、加齢による心身の衰えに対応した健康づくりの活動を通して健康寿命を延ばしています。
	今後に向けた課題・方向性	● こころの健康づくりでは、30 ～ 50歳代の相談件数が増加傾向にあり、育児や虐待の関係での悩みや相談もあります。その中で、現状は月1回のカウンセラーによる相談を行っています。相談件数は増加傾向にあることから、専門機関と連携して体制の拡充を図ります。 ● がん検診受診率は県内でも低くなっています。また、今後の高齢社会の進展に伴い、医療費の増加も見込まれることや、疾病の早期発見が重要となることなどから、受診率の向上に向けて受けやすい環境づくり(実施場所、期間、時間、メニュー等)に努めます。 ● 健康長寿のまちづくりに向けて、高齢者をはじめ各世代向けのメニューを充実させていくことが課題となっているため、介護予防の観点からも健康づくりや生活習慣病予防の対策を充実させます。

まちづくり目標値	指標名		目標(令和6年度)
	(1)	胃がん検診受診人数	476人
	(2)	子宮がん検診受診人数	980人
	(3)	乳がん検診受診人数	720人
	(4)	大腸がん検診受診人数	3968人

成果指標の推移		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
	(1)	228人				
	(2)	755人				
	(3)	524人				
	(4)	3552人				

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	61,028	48,276	1,161	0	187	46,928

今年度の 施策達成度	A	A 施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。（進捗率71～100%）
		B 施策の見直し、改善等の検討余地がある。（進捗率31～70%）
		C 施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。（進捗率0～30%）
施策達成度の 理由 （施策に対する 今年度の実績 及び効果）		広報いな、町ホームページ、がん検診等事業年間カレンダー、保健事業のお知らせ等により周知するとともに、ポイント制を導入した「い～な！健康マイレージ事業」と連動し、各種がん検診の受診率向上を目指した。また、胃がん検診については埼玉県内でも実施事例の少ない内視鏡検診を実施。

施策実現のための課題	施策を取り巻く環境の変化について	悪性新生物(がん)に罹患する原因として、生活習慣病も原因のひとつであることから、がんと合わせての予防対策に対する関心が増加している。
	住民ニーズの変化について	少子高齢化時代を迎え、住民誰もが病気を未然に防ぎ、生涯を通じて健やかに暮らしたいという健康意識は強くなっている。
	展開した事業は適切であったか	各種がん検診実施事業の展開は、疾病予防・健康に対する意識の高揚、疾病の早期発見に大変重要な要素であると認識している。また、検診実施により、実際にがんが発見された事例もあることから、今後も町民の健康のために欠かせない事業であると考えている。
	施策を達成するうえでの障害について	今までの経験や住民からの意見を参考に、開催時期等を検討し事業を実施しているが、受診者の特性(勤務先や世帯状況等)や、受診時期、回数等に関する分析等を行う必要がある。

次年度以降における施策の具体的な方向性	令和元年度に実施したがん検診に関するアンケートの結果をもとに、受診率向上の対策として、がん検診の案内の個別通知を作成し送付する。今後も受診方法を模索、研究し、受診率向上を命題とし、健康長寿のまちづくりを推進する。
---------------------	--

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	広報誌、町ホームページ、がん検診等事業年間カレンダー等を通じ、受診対象者に対しがん検診に関する情報発信を行い、受診率の向上を目指している。
----------------------	---

令和2年度 行政評価表

担当課	健康増進課
章名	第2章 いきいき_元気_健康長寿のまち
節名	第1節 生涯を通じた健康づくり
施策名	2-自殺予防対策の推進

施策の内容	目指す姿	すべての町民が、自らの健康に関心を持ち、加齢による心身の衰えに対応した健康づくりの活動を通して健康寿命を延ばしています。
	今後に向けた課題・方向性	● こころの健康づくりでは、30 ～ 50歳代の相談件数が増加傾向にあり、育児や虐待の関係での悩みや相談もあります。その中で、現状は月1回のカウンセラーによる相談を行っています。相談件数は増加傾向にあることから、専門機関と連携して体制の拡充を図ります。 ● がん検診受診率は県内でも低くなっています。また、今後の高齢社会の進展に伴い、医療費の増加も見込まれることや、疾病の早期発見が重要となることなどから、受診率の向上に向けて受けやすい環境づくり(実施場所、期間、時間、メニュー等)に努めます。 ● 健康長寿のまちづくりに向けて、高齢者をはじめ各世代向けのメニューを充実させていくことが課題となっているため、介護予防の観点からも健康づくりや生活習慣病予防の対策を充実させます。

まちづくり目標値	指標名		目標(令和6年度)
	(1)	ゲートキーパー養成累計人数	200人
	(2)		
	(3)		
	(4)		

成果指標の推移		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
	(1)	98人				
	(2)					
	(3)					
	(4)					

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	1,615	1,054	87	0	0	967

今年度の 施策達成度	A	A 施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。（進捗率71～100%）
		B 施策の見直し、改善等の検討余地がある。（進捗率31～70%）
		C 施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。（進捗率0～30%）
施策達成度 の理由 （施策に対する 今年度の実績 及び効果）	広報いな、町ホームページ等の活用による周知の結果、自殺予防対策の普及啓発が図られた。	

施策実現のための課題	施策を取り巻く環境の変化について	誰も自殺に追い込まれることのない社会を目指し、平成30年度に策定した「伊奈町自殺対策推進計画」に基づき事業を展開している。
	住民ニーズの変化について	すべての町民が自殺に追い込まれることなく、心穏やかに暮らしていける環境づくりが求められている。
	展開した事業は適切であったか	面談・電話相談等により、個別の状況に合わせた対応ができた。また、ゲートキーパーの養成やリーフレットの配布により、町民全体へ具体的な方法で対策をとることは重要であり、今後も必要な事業であると考えている。
	施策を達成するうえでの障害について	潜在的に、こころの不調・自殺の話題は避けられる傾向にあるため、町民の関心を深め、地域社会全体で生きることの支援を推進していくことが課題となっている。

次年度以降における施策の具体的な方向性	相談体制の充実を図り、地域のネットワーク強化と町民への啓発を推進していく。
---------------------	---------------------------------------

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	広報いな、町ホームページ、ポスター掲示等を活用しながら、情報発信を積極的に行い、事業を展開している。
----------------------	--

令和2年度 行政評価表

担当課	健康増進課
章名	第2章 いきいき_元気_健康長寿のまち
節名	第1節 生涯を通じた健康づくり
施策名	3-感染症予防の推進

施策の内容	目指す姿	すべての町民が、自らの健康に関心を持ち、加齢による心身の衰えに対応した健康づくりの活動を通して健康寿命を延ばしています。
	今後に向けた課題・方向性	● こころの健康づくりでは、30 ～ 50歳代の相談件数が増加傾向にあり、育児や虐待の関係での悩みや相談もあります。その中で、現状は月1回のカウンセラーによる相談を行っています。相談件数は増加傾向にあることから、専門機関と連携して体制の拡充を図ります。 ● がん検診受診率は県内でも低くなっています。また、今後の高齢社会の進展に伴い、医療費の増加も見込まれることや、疾病の早期発見が重要となることなどから、受診率の向上に向けて受けやすい環境づくり(実施場所、期間、時間、メニュー等)に努めます。 ● 健康長寿のまちづくりに向けて、高齢者をはじめ各世代向けのメニューを充実させていくことが課題となっているため、介護予防の観点からも健康づくりや生活習慣病予防の対策を充実させます。

まちづくり目標値	指標名		目標(令和6年度)
	(1)	3歳児未満定期予防接種率	90%
	(2)		
	(3)		
	(4)		

成果指標の推移		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
	(1)	85.90%				
	(2)					
	(3)					
	(4)					

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	146,411	166,086	53,369	0	0	112,717

今年度の 施策達成度	A	A 施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。（進捗率71～100%）
		B 施策の見直し、改善等の検討余地がある。（進捗率31～70%）
		C 施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。（進捗率0～30%）
施策達成度 の理由 （施策に対する 今年度の実績 及び効果）	3歳児未満の予防接種率について、町広報やホームページの活用による周知の結果、目標を達成したことによる。	

施策実現のための課題	施策を取り巻く環境の変化について	高齢者肺炎球菌予防接種、B型肝炎及びロタウイルスワクチン予防接種の定期化、風しんの追加的対策等、国の施策により定期予防接種が増加している。
	住民ニーズの変化について	誰もが病気を未然に防ぎ、生涯を通じて健やかに暮らしていくための環境づくりが求められている。
	展開した事業は適切であったか	疾病予防のために各種予防接種事業を実施することは、保健事業を展開していく上で重要なことである。
	施策を達成するうえでの障害について	広報未配布世帯やインターネットを利用しない町民に対し、町の情報をいかに素早的確に周知していくかが課題である。

次年度以降における施策の具体的な方向性	定期予防接種の接種率向上を図るため、定期予防接種の接種期間に受けられるよう的確に周知していく。新型コロナウイルス感染症予防の対策について、国・県の動向を注視し、感染症予防対策を推進していく。
---------------------	---

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	広報いな、町ホームページ等にて積極的に情報発信を行うことにより、各種予防接種の周知を行い、接種率の向上を図っている。
----------------------	--

令和2年度 行政評価表

担当課	健康増進課
章名	第2章 いきいき_元気_健康長寿のまち
節名	第1節 生涯を通じた健康づくり
施策名	4-健康増進計画の推進

施策の内容	目指す姿	すべての町民が、自らの健康に関心を持ち、加齢による心身の衰えに対応した健康づくりの活動を通して健康寿命を延ばしています。
	今後に向けた課題・方向性	● こころの健康づくりでは、30 ～ 50歳代の相談件数が増加傾向にあり、育児や虐待の関係での悩みや相談もあります。その中で、現状は月1回のカウンセラーによる相談を行っています。相談件数は増加傾向にあることから、専門機関と連携して体制の拡充を図ります。 ● がん検診受診率は県内でも低くなっています。また、今後の高齢社会の進展に伴い、医療費の増加も見込まれることや、疾病の早期発見が重要となることなどから、受診率の向上に向けて受けやすい環境づくり(実施場所、期間、時間、メニュー等)に努めます。 ● 健康長寿のまちづくりに向けて、高齢者をはじめ各世代向けのメニューを充実させていくことが課題となっているため、介護予防の観点からも健康づくりや生活習慣病予防の対策を充実させます。

まちづくり目標値	指標名		目標(令和6年度)
	(1)	健康長寿サポーター養成累計人数	645人
	(2)		
	(3)		
	(4)		

成果指標の推移		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
	(1)	645人				
	(2)					
	(3)					
	(4)					

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	1,615	1,054	87	0	0	967

今年度の 施策達成度	A	A 施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。（進捗率71～100%）
		B 施策の見直し、改善等の検討余地がある。（進捗率31～70%）
		C 施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。（進捗率0～30%）
施策達成度 の理由 （施策に対する 今年度の実績 及び効果）	健康セミナー、生活習慣病予防教室等の健康づくりのための健康教室を実施し、健康づくりの意識啓発を図るとともに、健康長寿サポーターの目標養成人数を達成したことによる。	

施策実現のための課題	施策を取り巻く環境の変化について	町民の誰もが心身ともに健康でいきいきと暮らしていくことを目指し、平成25年度に策定した「い～な健康プラン21(伊奈町健康増進計画)」に基づき、事業を展開している。
	住民ニーズの変化について	誰もが病気を未然に防ぎ、生涯を通じて健やかに暮らしていくための環境づくりが求められている。
	展開した事業は適切であったか	健康づくり対策推進事業を実施することで、町民の健康に対する関心を高め、健康教室のような具体的な提案を行っていくことは非常に有用である。
	施策を達成するうえでの障害について	町民の健康に対する意識差を埋めるための事業展開をいかに行っていくかが課題である。

次年度以降における施策の具体的な方向性	地域の要望によって開催する健康長寿教室の更なる充実(回数・地域)を図る。
---------------------	--------------------------------------

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	広報いな、町ホームページ等を利用した積極的な情報発信を行い、町全体で町民の健康に対する取組をPRし、参加者が満足する事業を展開していく。
----------------------	--

令和2年度 行政評価表

担当課	健康増進課
章名	第2章 いきいき_元気_健康長寿のまち
節名	第2節 地域医療体制の充実
施策名	1-地域医療の連携

施策の内容	目指す姿	安心できる地域医療体制が確立され、町民の生命や健康が守られています。
	今後に向けた課題・方向性	● 町民の安心できる子育て環境の実現に向け、小児初期救急の365 日体制の実現を図ります。 ● 医師不足及び救急や休日当番の報酬の不足が課題となっていることから、医師の確保、財政的支援の見直しなどを検討します。 ● 医療機関と介護事業所等との多職種の連携にあたっては、専門職間での情報共有が重要であることから、さらなる連携を推進します。 ● 今後増加が見込まれる高齢者及び要介護者が、住み慣れた地域で安心して住み続けることができるよう、引き続き、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制(地域包括ケアシステム)の構築を推進します。

まちづくり目標値	指標名		目標(令和6年度)
	(1)	小児救急医療体制の充実(小児初期救急医療日数)	平日293日
	(2)	小児救急医療体制の充実(小児二次救急医療日数)	平日293日
	(3)		
	(4)		

成果指標の推移		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
	(1)	平日293日				
	(2)	平日293日				
	(3)					
	(4)					

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	8,621	8,096	0	0	0	8,096

今年度の 施策達成度	A	A 施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。（進捗率71～100%）
		B 施策の見直し、改善等の検討余地がある。（進捗率31～70%）
		C 施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。（進捗率0～30%）
施策達成度 の理由 （施策に対する 今年度の実績 及び効果）	医療機関と連携し、休祝日や年末年始の急患に対応するため、輪番制で休日診療を行う際の財政支援を行い、医療体制の充実を図ることで、住民が安心して医療機関を受診することができた。	

施策実現のための課題	施策を取り巻く環境の変化について	少子高齢化、核家族化の進展に伴い、地域医療に対するニーズが多様化している。
	住民ニーズの変化について	上記内容を踏まえ、住民誰もが病気を未然に防ぎ、生涯を通じて健やかに暮らしていくための環境づくりが求められている。
	展開した事業は適切であったか	休日診療費負担事業、准看護学校運営費補助事業を実施することで、地域医療体制の整備、充実を図ることは重要である。
	施策を達成するうえでの障害について	多様化するニーズに対応するため、医療機関とのさらなる連携が必要となっている。

次年度以降における施策の具体的な方向性	輪番制として実施している事業であり、参加する4市1町(上尾・桶川・北本・鴻巣・伊奈)との連携と住民のニーズに対応するため、医師会とのさらなる調整・協議を必要とする。
---------------------	--

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	現事業に対する理解をさらに深めるため、連携する4市1町での情報発信や、地域医師会及び協力医療機関との意見交換を図り、医療体制の整備充実を図る。
----------------------	---

令和2年度 行政評価表

担当課	健康増進課
章名	第2章 いきいき_元気_健康長寿のまち
節名	第2節 地域医療体制の充実
施策名	2-救急医療体制の充実

施策の内容	目指す姿	安心できる地域医療体制が確立され、町民の生命や健康が守られています。
	今後に向けた課題・方向性	● 町民の安心できる子育て環境の実現に向け、小児初期救急の365 日体制の実現を図ります。 ● 医師不足及び救急や休日当番の報酬の不足が課題となっていることから、医師の確保、財政的支援の見直しなどを検討します。 ● 医療機関と介護事業所等との多職種の連携にあたっては、専門職間での情報共有が重要であることから、さらなる連携を推進します。 ● 今後増加が見込まれる高齢者及び要介護者が、住み慣れた地域で安心して住み続けることができるよう、引き続き、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制(地域包括ケアシステム)の構築を推進します。

まちづくり目標値	指標名		目標(令和6年度)
	(1)	小児救急医療体制の充実(小児初期救急医療日数)	平日293日
	(2)	小児救急医療体制の充実(小児二次救急医療日数)	平日293日
	(3)		
	(4)		

成果指標の推移		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
	(1)	平日293日				
	(2)	平日293日				
	(3)					
	(4)					

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	10,475	10,475	0	0	0	10,475

今年度の 施策達成度	A	A 施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。（進捗率71～100%）
		B 施策の見直し、改善等の検討余地がある。（進捗率31～70%）
		C 施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。（進捗率0～30%）
施策達成度の理由 （施策に対する今年度の実績 及び効果）	二次救急病院・小児救急体制を整えるため、医療機関と連携し診療を行う際の財政支援を行い、医療体制の充実を図ることができた。特に平成30年6月からは、二次救急輪番制医療機関数が8から9に増え、北（鴻巣市）、中央（桶川市・北本市）、南（上尾市・伊奈町）の3地区3病院輪番体制が整い、地域医療体制が充実した。	

施策実現のための課題	施策を取り巻く環境の変化について	少子高齢化、核家族化の進展に伴い、地域医療に対するニーズが多様化している。
	住民ニーズの変化について	上記内容を踏まえ、住民誰もが病気を未然に防ぎ、生涯を通じて健やかに暮らしていくための環境づくりが求められている。
	展開した事業は適切であったか	埼玉県中央地区第二次救急医療負担事業、埼玉県中央地区小児二次救急医療運営負担事業、桶川北本伊奈地区小児初期救急医療運営負担事業、献血推進事業については、地域の救急医療体制の維持・拡充のために必要なものである。
	施策を達成するうえでの障害について	多様化するニーズに対応するため、関係自治体、医療機関とのさらなる連携が必要となっている。

次年度以降における施策の具体的な方向性	関係自治体、医師会との調整・協議により、日曜日夜間の実施を目指す。
---------------------	-----------------------------------

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	医療機関、関係自治体と連携し、救急医療体制の充実が図れ、町民が安心して生活することが可能となる。
----------------------	--

令和2年度 行政評価表

担当課	健康増進課
章名	第3章_人を育て、はじける笑顔_輝くまち
節名	第1節_子ども・子育て支援の充実
施策名	3-子育て家庭の支援

施策の内容	目指す姿	多様な保育サービスの提供や子育て支援の充実により、安心して出産・子育てのできるまちになっています。
	今後に向けた課題・方向性	● 保育所及び放課後児童クラブは充足率が高く、今後の待機児童発生が大きな懸念となっていますが、その一方、就学前人口は減少傾向にあり、ニーズの増加と人口の推移のバランスを見極めながら取組みます。 ● 保育ニーズが多様化することが考えられるため、一時保育、病後児保育、延長保育など保育事業の検討を行いながら、待機児童の解消、少子化対策に引き続き取組みます。 ● 幼児教育(就学前児童の教育)の充実に向けて、保育士等の質の向上を図るとともに、人材の確保に努めます。 ● 今後の児童の減少を見据えた保育施設のあり方について検討します。 ● 児童虐待が大きな問題となってきたことから、子どもを取り巻く環境の変化への取組の充実に努めます。 ● 里帰り出産など母子不在時の対応や面接拒否の案件などについては、他市町村保健部門や関係部署との連携を図ります。

まちづくり目標値	指標名		目標(令和6年度)
	(1)	未熟児養育医療券発行件数(受給者数)	15件
	(2)		
	(3)		
	(4)		

成果指標の推移		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
	(1)	15件				
	(2)					
	(3)					
	(4)					

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	2,943	3,021	718	0	797	1,506

今年度の 施策達成度	A	A 施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。（進捗率71～100%）
		B 施策の見直し、改善等の検討余地がある。（進捗率31～70%）
		C 施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。（進捗率0～30%）
施策達成度 の理由 （施策に対する 今年度の実績 及び効果）	未熟児養育医療申請者（令和2年度実績15件）に対し、医療機関で必要となる養育医療券の発行を迅速に行い、対象世帯が安心して医療を受けることができた。	

施策実現のための課題	施策を取り巻く環境の変化について	未熟児の養育に必要な医療給付は、入院を伴うことから高額であり、子育て家庭の経済的負担が大きい。また、医療技術の進歩により、未熟児での出生に対応する環境が整いつつあり、今後も申請は増える可能性がある。
	住民ニーズの変化について	住民誰もが病気を未然に防ぎ、生涯を通じて健やかに暮らしていくための環境づくりが求められている。
	展開した事業は適切であったか	子育て世帯の経済的負担を軽減し、健やかな子供の成長を支援するために、今後も必要な事業である。
	施策を達成するうえでの障害について	未熟児養育医療制度に対する理解及び指定医療機関数の問題

次年度以降における施策の具体的な方向性	未熟児養育医療による経済的支援を継続するとともに、妊娠期からの母子保健活動のさらなる充実を図り、安心して妊娠・出産・子育てができるように支援していく。
---------------------	---

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	未熟児出生率の変化に対応した町の予算を確保するだけでなく、国・県の未熟児養育医療補助金を適切に積算・申請し、財政負担を抑える。
----------------------	---

令和2年度 行政評価表

担当課	健康増進課
章名	第3章_人を育て、はじける笑顔_輝くまち
節名	第1節_子ども・子育て支援の充実
施策名	5-子どもの健やかな成長支援

施策の内容	目指す姿	多様な保育サービスの提供や子育て支援の充実により、安心して出産・子育てのできるまちになっています。
	今後に向けた課題・方向性	● 保育所及び放課後児童クラブは充足率が高く、今後の待機児童発生が大きな懸念となっていますが、その一方、就学前人口は減少傾向にあり、ニーズの増加と人口の推移のバランスを見極めながら取組みます。 ● 保育ニーズが多様化することが考えられるため、一時保育、病後児保育、延長保育など保育事業の検討を行いながら、待機児童の解消、少子化対策に引き続き取組みます。 ● 幼児教育(就学前児童の教育)の充実に向けて、保育士等の質の向上を図るとともに、人材の確保に努めます。 ● 今後の児童の減少を見据えた保育施設のあり方について検討します。 ● 児童虐待が大きな問題となってきたことから、子どもを取り巻く環境の変化への取組の充実に努めます。 ● 里帰り出産など母子不在時の対応や面接拒否の案件などについては、他市町村保健部門や関係部署との連携を図ります。

まちづくり目標値	指標名		目標(令和6年度)
	(1)	乳幼児健診受診率	97%
	(2)		
	(3)		
	(4)		

成果指標の推移		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
	(1)	96.28%				
	(2)					
	(3)					
	(4)					

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	39,512	32,499	2,250	0	0	30,249

今年度の 施策達成度	A	A	施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。（進捗率71～100%）
		B	施策の見直し、改善等の検討余地がある。（進捗率31～70%）
		C	施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。（進捗率0～30%）
施策達成度 の理由 （施策に対する 今年度の実績 及び効果）		広報いな、町ホームページ等にて周知を図るだけでなく、健診未受診者に対する受診勧奨などの対応に努めたが、里帰りや未熟児養育医療対象といった要因により、健診受診ができない事例があったものの、概ね目標に近い数字を達成することができた。	

施策実現のための課題	施策を取り巻く環境の変化について	核家族・共働き・一人親世帯の増加等、多様化するニーズに対応した相談体制が求められている。
	住民ニーズの変化について	上記内容を踏まえ、住民誰もが病気を未然に防ぎ、生涯を通じて健やかに暮らしていくための環境づくりが求められている。
	展開した事業は適切であったか	乳幼児健康診査事業、母子保健健康指導相談事業、妊婦健康診査事業を実施し、子どもの健やかな成長を支援することができた。
	施策を達成するうえでの障害について	若い世代が多く、それに比例して乳幼児健診や乳児・育児相談の件数が増加し、専門スタッフの充実が必要である。

次年度以降における施策の具体的な方向性	乳児訪問の充実 母子保健相談体制の充実 乳幼児健診未受診者への対応の充実
---------------------	--

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	広報いな、町ホームページ等を活用し、対象者向けに積極的な情報発信を行い、乳幼児健診の受診率向上を図っている。
----------------------	--